

美 258 学

美的対象の感情性格について —ミュンヘン学派の現象学にもとづいて—	峯尾幸之介	1
彫刻の仮想表象空間と局所表象空間 —再生的想像と知覚的想像の概念による整理—	中村 泰士	13
「地域アート」の芸術的価値 —環境美学の視点から—	青田 麻未	25
柳宗悦における美と神秘主義の論理 —「一」概念からみる民藝論と仏教美学—	足立恵理子	37
ウィリアム・モリスの工芸論における宗教性について —ジョン・ラスキンからの影響を中心に—	島貫 悟	49
カユザックのデュボス批判 —新旧舞踊論争—	川野 恵子	61
一八世紀フランスにおける女性のヴィエル演奏 —楽器改良と運指法確立の観点から—	木村 遥	73
マックス・ニューハウスは何を「音楽」と呼んだのか	小寺未知留	84
書評		
伊藤亜紗 著『どもる体』医学書院、2018年	加藤有希子	96
例会・研究発表会発表要旨		102
学会消息・編集後記		114
欧文要旨		120
